



ねっどわーく



H24. 07. 12 No.25

■石川先生の授業から学んだこと（あの笑顔はどこから…）

石川先生、夏休み前の忙しい時期に、貴重な授業を提供いただき本当にありがとうございました。個人的に、ン十年ぶりに授業を見させて頂きました。若いとき（笑）に気づかなかったことが、昨日の授業で「そこかー！」と気づかされたところが多々ありました。事後研を含めた「研究だより」については、同学年の竹田先生にお願いすることとして（竹田先生、よろしくお願いします。また、追い討ちをかけるようで申し訳ありませんが、石川先生も授業後のレポートよろしくお願いします。）、個人的に感じたところを述べたいと思います。

◎子どもたちのあの笑顔はどこから～

普通、授業研というと、子どもたちが緊張してなかなか思うようにいかない経験を、私は何度もしています。

昨日の石川先生の授業、本当に「自然」でした。子どもたちに笑顔が絶えませんでした。もちろんマークを「どれにしようかなー。」と悩んでいる場面もありましたが、80パーセント近くは、笑顔あふれる自然体の授業だったのではないのでしょうか。

これはいったい、どこからきているのか。軽部先生が事後研で、「石川先生の笑顔が、子どもたちに反映している。」ということを書けられました。

（マダムキラー的発言（笑））

まさしく、そのとおりだと思います。下のよう

に石川先生の笑顔のもと「まるごと受け止める」という、所信表明どおりのスタンス（余裕といっても良いかも）それこそが、石川マジックの根本ではないかと。あと、付け加えるならば、子どもたちとの会話・

やりとりでの「間」かなあと感じています。うまく伝えられないのですが、本当にありがとうございました。

学級経営のなんたるかを、あの小さい（笑）けれども、スケールの大きい石川先生から学ぶことができました。



まるごと受け止める（愛容）



◆丸ごと受け止めるというスタンスが垣間見えた場面◆

- OOくんが、はずかしがってなかなか発表しなかったときの受け答え→「（ニコニコしながら）はずかしがりやさんだから、と笑いを取りながら、無理強いしなかった。
- OOさんが発言するまで、30秒近く笑顔で待った。